

2017年10月13日
愛知製鋼株式会社

『愛知製鋼レポート2017』を発行

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、当社グループの2016年度の事業活動や、ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み内容と成果をまとめた『愛知製鋼レポート 2017』を発行しました。

今回のレポートでは、トップコミットメントの中で、昨年2016年1月8日の事故を受けて「New AICHI STEEL」への変革を目指す思いをトップが自らの言葉で表明するとともに、社会からの関心が高い、低炭素社会に貢献するクルマの機構変化・電動化への対応についても述べています。

また、特集では、創立75周年記念事業の一つとして建設を開始した新本館メイン棟の完成に伴い、「事業継続の強化」「新しいワークスタイルへの対応」「エネルギーハーフオフィス」をコンセプトとした新本館の機能と、“コミュニケーション向上”をキーワードとした働き方改革の取り組みを紹介しています。

その他、以下の内容などを掲載しています。

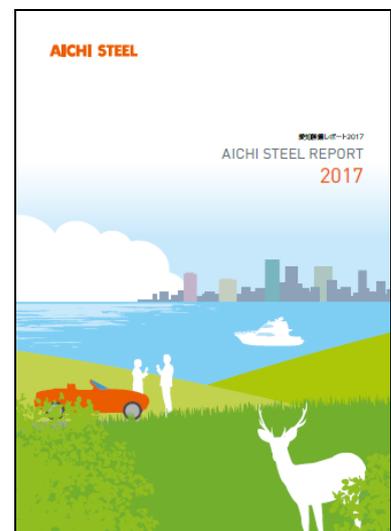
1. 環境への取り組み（E：Environment）
…「アイチ環境取り組みプラン2020」の活動状況、低炭素社会に向けた取り組み、資源リサイクルの取り組み など
2. 社会との関わり（S：Social）
…「愛知製鋼と社会との関わり」（図解）、社会貢献、地域との交流 など
3. コーポレートガバナンス（G：Governance）
…経営の効率性、公平性、透明性の維持向上に向けた取り組み、カンパニー制導入 など
4. 各カンパニーの事業の取り組み
…CVT用熱間鍛造プレスライン竣工、アモルファスワイヤ製造開始、ステンレス鉄筋商品レポートリー拡大 など

今後も、本レポートなどを通じてステークホルダーの皆様との積極的なコミュニケーションを推進し、当社に対するご理解を深めていただくとともに、CSV*の視点で社会へ貢献してまいります。

※CSV： Creating Shared Value の略。
社会的な課題の解決と企業の競争力向上を同時に実現すること。

※本レポートは、愛知製鋼ホームページよりご覧いただけます。

<https://www.aichi-steel.co.jp/csr/index.html>



以上